



Souichirou

早一郎

ほうれんそう

べと病レース1〜11耐病性

そういちろう

13 15

緑が濃い

草姿立性

低温伸長



早一郎 (そういちろう) Souichirou

特性

①病気に強い

べと病レース1~11、13、15耐病性。近年レース分化が進行しているべと対策に最適な最新品種。

②低温伸長性

低温期でも生育が早く、1月2月の厳寒期でも伸長する。
温度が下がる10月中旬以降の年内播きで品種能力を発揮する。

③多収品種

葉柄は太く、葉は肉厚で収量性が高い。

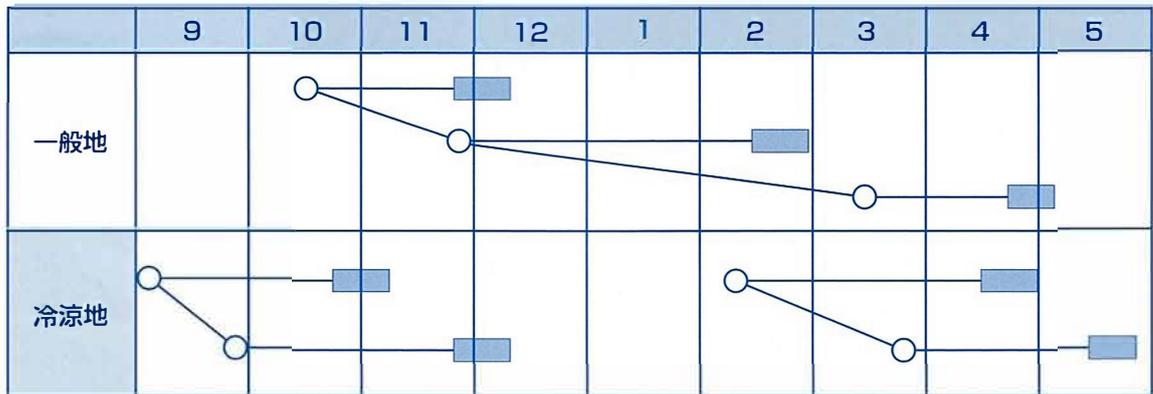
④極濃緑

葉色は極濃緑色。葉形は浅く2段切れ込みが入り、葉先はややとがる。

⑤作業性抜群

葉姿は立性で収穫作業がし易く、葉軸は弾力があり調整作業時に軸折れし難い。

適作型



○ 播種期 ■ 収穫期

栽培の要点

- ①酸性土壌を嫌うため、あらかじめ土壌分析を行い、pHを矯正しておく。
- ②栽培に当たっては、排水の良い土壌を選ぶことが重要であるが、堆肥等有機物の投入や深耕により土壌の物理性を改善することが重要。
- ③低温伸長性が強い品種ですが、厳寒期にはトンネル被覆やべた掛け資材を被覆することにより、計画的に出荷でき、品質の向上にも繋がる。
- ④温度の高い時期の栽培では徒長し易いため、適期播種を行なって下さい。
- ⑤べと病レース1~11、13、15の耐病性を持っておりますが、新レースが発生する可能性がありますので、予防散布を心掛けて下さい。

施肥例

肥料は元肥主体で、10a当りのチッソ量は年内収穫と年明け播種は10kg、年越し栽培は15kgを目安とする。